再評価結果（平成１６年度事業継続箇所）

担　当　課：九州地方整備局都市・住宅整備課
担当課長名：栗田　泰正

事業名	佐賀大和線（さがやまとせん）	事業区分	街路	事業主体	佐賀県
起終点	自：佐賀県佐賀市多布施（さがたふせ）２丁目 至：佐賀県佐賀市若宮（さがわかみや）１丁目			延長	１．９km

事業概要

佐賀大和線は、佐賀都市圏の市街地中心部を通り、長崎自動車道佐賀大和ＩＣと佐賀空港を結ぶ南北主要幹線道路である。当該箇所は、市街地の中心にあって、慢性的な交通渋滞と歩行者・自転車の通行も輻輳し危険な状態である。今回の整備により、中心市街地の交通の円滑化と、歩行者自転車の安全確保、及びゆとりある良好な都市環境の創出を図るものである。

Ｈ６年度事業化	Ｈ４年度都市計画決定（Ｈ８年度変更）	Ｈ６年度用地着手	Ｈ６年度工事着手

全体事業費	１８０億円	事業進捗率	６８％	供用済延長	０．３km
計画交通量	５０，３００台／日				

費用便益分析結果	B／C（事業全体）	総費用（事業全体）	総便益（事業全体）	基準年
	２．４	１８６億円 事業費：185億円 維持管理費：1億円	４４２億円 走行時間短縮便益：415億円 走行費用減少便益：23億円 交通事故減少便益：4億円	平成１５年

事業の効果等

中心市街地の交通円滑化、歩行者自転車の安全確保、ゆとりある良好な都市環境の創出

関係する地方公共団体等の意見

中心市街地の渋滞解消のため、地元からの強い要望がある。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

当該箇所南側の、国道２６４号の一部４車化完成により、交通量が増加している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成１４年度末での進捗率は６７．６％であり、用地補償は残り４１件となっている。工事については全体１．９ｋｍのうち、０．３ｋｍが完成し、残りは部分完成か工事未着手となっている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

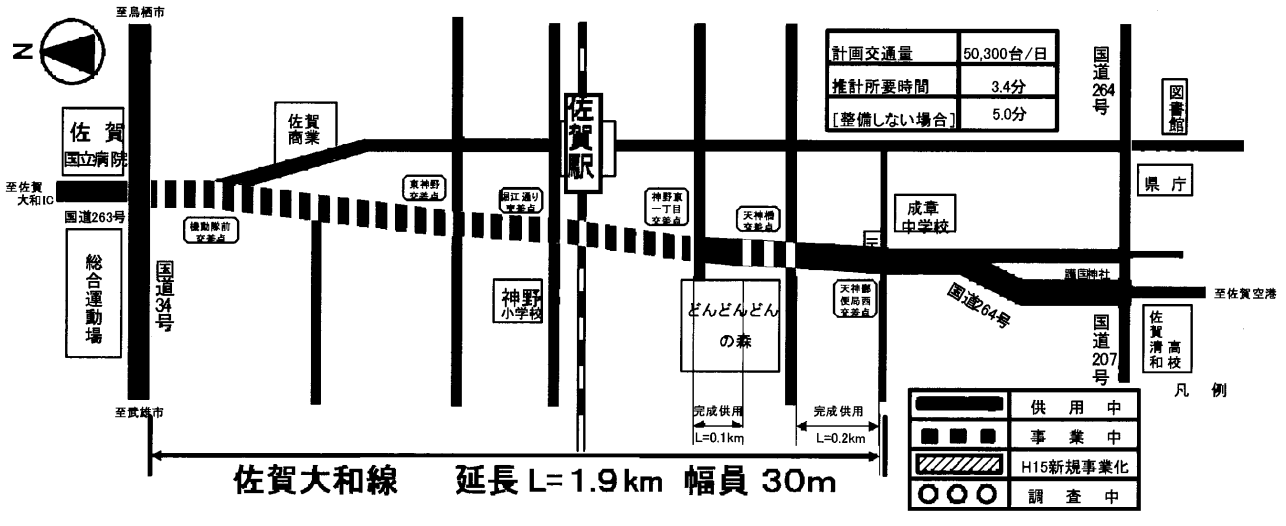
物件補償の移転先地の選定等で用地取得が難航している箇所はあるものの、平成１７年度には、用地補償契約を完了し、平成１９年度の工事完成全線供用開始を目指す。

施設の構造や工法の変更等　特になし

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。